

みんなで考える / 現宮前区役所等施設・用地の活用



検討の背景と経緯

川崎市では、鷺沼駅周辺の再開発の機会を捉えて、宮前区役所・市民館・図書館の鷺沼駅への移転を予定しています。

移転予定時期を踏まえ、現施設・用地活用の基本的な考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」(以下「活用基本方針」という。)を策定します。

皆さまのご意見を伺いながら、地域課題の解決や行政需要に対応した活用となるよう、検討を進めます。



いま宮前平にある
宮前区役所、宮前市民館・図書館をまとめて
「現区役所等施設・用地」と呼んでいます

検討の基本的な考え方

1 市による施設・用地保有

- 一定規模のまとまった公有地であること、地域課題の解決に資する活用の可能性を検討する必要があること等から、市が保有し続けることを基本とし、その活用方策を検討します。
- 市による保有を前提に、活用方策を検討します。

2 宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理

- 宮前区全体の将来のまちづくりや現区役所周辺エリアの活性化の観点から、地域課題や行政需要、地域ニーズを整理します。
- 宮前区全体の魅力や安心安全の暮らしの向上を目指し、効率的かつ効果的な活用ができるよう検討します。

3 市民参加による検討

- 検討過程の透明性の確保に努めるとともに、民間活力の活用可能性も含め、検討の前提となる条件を整理し、検討段階に応じて、適切な方法で市民参加の機会を確保します。

最新の検討状況はこちら

活用に向けた市民参加による検討の進め方

現在の「地域課題やニーズ」と今後の「環境変化」の2つの視点を踏まえ、活用の検討を進めます。皆さまのご意見やニーズをより反映した検討内容とするため、様々な市民参加の機会を設けます。

また、検討過程を皆さまと共有するため、継続的に情報発信を行います。



活用に向けた検討のスケジュール

宮前区役所等 活用検討 検索

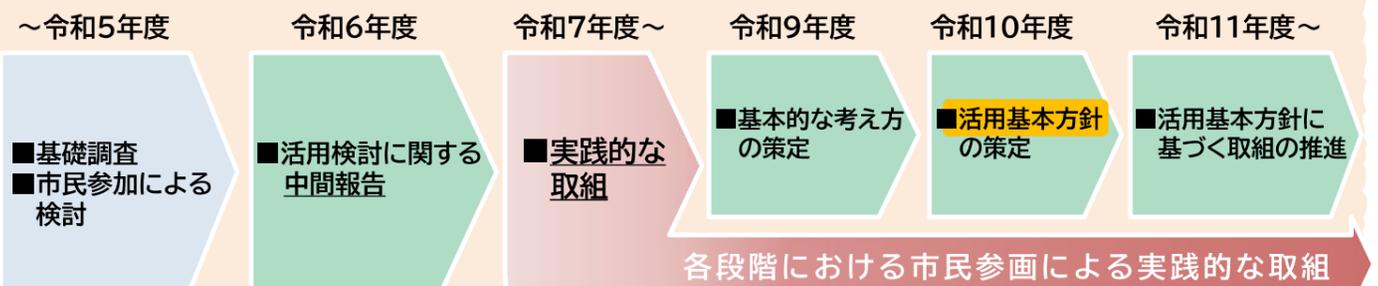


令和5年度までに実施した市民参加による検討により、様々なご意見・アイデアが集まり、令和6年度にそれまでの検討状況を中間報告としてまとめました。

令和7年度からは、これまでの市民意見を実際に試してみるなどの実践的な取組を市民参画で進めながら、令和9年度に基本的な考え方、令和10年度に活用基本方針の策定を予定※しています。

策定後は、活用基本方針に基づき取組を推進します。

※令和6年11月にこのスケジュールに変更しました。



現 宮前区役所等施設・用地の活用検討に関する中間報告

～これまでの検討状況について～

これまでの検討状況や、活用に向けた今後の取組について、中間報告としてまとめました。ここでは、「これまでの検討状況」として、市民参加による検討などにより取りまとめた内容を、いくつかのキーワードに整理した上で、現時点で候補となるコンセプトや活用手法、検討の進め方など、浮かび上がってくる内容についてご紹介します。

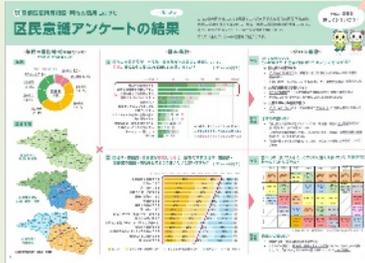


中間報告の内容や、過去のニュースレターはこちら

市民参加による検討

区民意識アンケート

令和4（2022）年6月から7月にかけて、区民の皆さまのご意見やニーズを幅広く把握するために、アンケートを実施しました。



結果概要はニュースレターVol.2でご紹介

1,038件の
ご回答を
いただきました



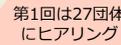
第2回は28団
体にヒアリング

関係団体等ヒアリング

令和4（2022）年から令和5（2023）年にかけて、宮前区で活動する団体等の皆さまに、現区役所等施設・用地にあったら望ましい機能等について伺いました。



結果概要はニュースレターVol.3でご紹介



第1回は27団
体にヒアリング

市民検討ワークショップ

令和5（2023）年11月から令和6（2024）年3月にかけて、「この場所でどんなことをしたいか、どんな機能があったらよいか」を区民の皆様と一緒に考えるワークショップを開催しました。



結果概要はニュースレターVol.4でご紹介

48名の方
にご参加
いただきました



その他の取組

【オープンハウス型説明会の実施】
宮前区のミライづくりプロジェクトとして、宮前区民祭や鷺沼駅などで実施しました。



【ニュースレターの発行】

検討状況については、ニュースレターの発行でお知らせしています。Vol.5では、中間報告の内容をご紹介します。



市民意見

市民参加による検討で見えてきたこと

- 災害対策、運動・スポーツ、広場・自然をキーワードとした意見がどの取組でも共通して上がりました。
- 将来を見据えた検討の中で、子ども・若者や子育て世代にフォーカスした意見や、**チャレンジ**ができる場所、という意見が上がりました。
- 現在の市民館や図書館で行っているような**文化活動**を継続したいという意見や、市民広場でのダンスの練習や今の名残がある場所、「宮前区は文教地区」という声など、これまでに培った**風土の継承**を望む意見も多くみられました。
- 段階的な整備をしたり、お試しの場とするような、**実践・実験的**な取組で活用方法を検討するという意見も上がりました。

キーワードに整理

災害対策	運動・スポーツ 広場・自然	子ども・若者 子育て世代
チャレンジ	文化活動 風土の継承	実践・実験的



立地特性等

- 宮前区は丘陵、坂、谷戸などで構成された**起伏に富んだ地形**や、**昼夜間人口比率が7区で最も低い**といった特徴があります。また、現区役所周辺や田園都市線沿線などで**年少人口の割合が比較的高**なっています。
- 現区役所等の周辺エリアは主に住宅地によって形成され、生活に密着した商業施設や公共施設などが立地しているなど、**身近な生活の場**となっています。
- 現区役所等は宮前平駅から徒歩10分程度、高低差は約30mの場所に位置し、**最寄駅からの高低差が大き**なっています。また、移転時には区役所は築53年、市民館・図書館は築47年を迎え、**施設の老朽化やバリアフリー面の課題**があります。

キーワードに整理

起伏に富んだ地形	年少人口の割合が 比較的高い	昼夜間人口比率が 7区で最も低い
身近な生活の場	最寄駅からの高低差 が大き	施設の老朽化 バリアフリー面の課題



社会状況の変化

- 新型コロナウイルス感染症を契機とした働き方やライフスタイルの変化、世界全体の不確実性の高まりなど、**今後の社会変容**に適切に対応していく必要があります。
- 多発する大規模風水害や、今後の発生が想定されている大規模地震などに対して、市民の**防災意識の高まり**が見られます。
- 未来型のライフスタイルの実現に向けて、国をあげての**デジタル化やDX化への取組**が進んでいます。

キーワードに整理

今後の社会変容	防災意識の高まり
デジタル化や DX化への取組	



浮かび上がってくる内容をまとめました！

軸となる活用コンセプトの候補



現施設が培った
風土の継承

災害に強いまち
の実現

●ここでは、この場所の使い方を考えていくためのコンセプトの候補を、一例としてあげています。

●どんなコンセプトや使い方がこの場所に相応しいかについては、引き続き市民の皆さまと一緒に検討していきます。

子ども・若者が
活躍できる場所

チャレンジが
できる場所

活用手法や検討の進め方の視点

フェーズフリー※

可変性・実験的
時間軸のデザイン

●フェーズフリー※やミクストユース（多様な用途）という考え方を取り入れながら、ニーズの変化に柔軟に対応できるような、段階的につくりあげていくことが効果的と考えます。

●時間の流れを意識しつつ、市民の皆さまに参画いただきながら、検討を深めていきます。

ミクストユース
（多様な用途）

市民による提案・
参画

※平常時や非常時などのフェーズに関わらず有効に利用できること

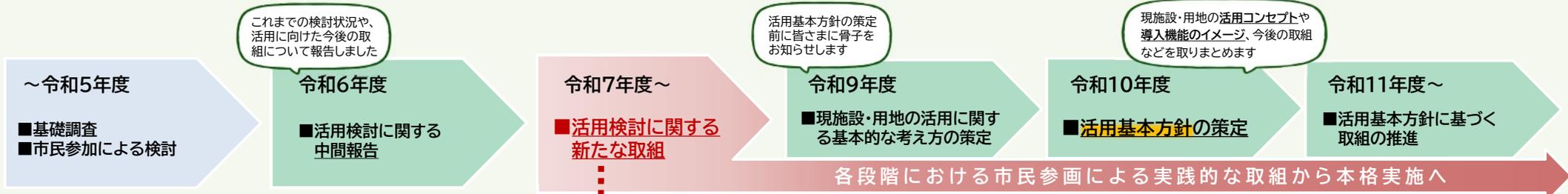
現 宮前区役所等施設・用地の活用検討に関する中間報告

～今後の検討の進め方と新たな取組について～

これまでの検討状況や、活用に向けた今後の取組について、中間報告としてまとめました。
ここでは、「活用に向けた今後の取組」として、現宮前区役所等の移転時期変更を受けた活用検討のスケジュールや、スケジュール変更により生じた時間を活用するための新たな取組についてご紹介します。

活用検討のスケジュール

現在の宮前区役所等施設・用地の活用の考え方を定める方針(活用基本方針)の策定時期を、令和7(2025)年度から令和10(2028)年度に変更しました。



新たな取組

スケジュール変更により生じた時間を最大限に活用するための新たな取組として、これまでいただいた市民アイデアを活かした取組を現地で実際に試してみるなど、実践的な取組を実施します。

